

【部課名：市長公室秘書広報課】

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
新年互礼会事業		市関係者並びに市内にある企業、団体の関係者が相互に交流を深め、市政の協力依頼及び意見・情報交換等を行い、市政の円滑な推進を図る。			指標	総計の現状値	R6実績値	商工会議所との共催のもと、市内の事業者、市関係団体の代表者等227人が参加し、意見・情報交換を行い、相互に交流を深めることができた。
総合計画の位置づけ				市政に市民の意見を取り入れる機会が増えたと思う市民の割合	44.8%	42.3%		
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						参加者が年々減少傾向にある。当該事業は、意見・情報交換を行い、相互に交流を深めることが目的であることから、参加者を増やすための方策について、共催である泉大津商工会議所との協議が必要である。
個別目標	繋がりあい支えあい新たな刺激が生まれることでみんなが主体的に地域課題を解決できるまち	R5決算額	316	316				
個別目標の方向性	誰もが市民参画できるように機会の充実を進めます	R6決算見込額	313	313				
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			事業の課題/今後の取組み
有功者表彰事業		市民が主体に活躍できるまちをめざし、永年、市の行政、教育、文化、産業及び社会福祉などの向上、その他公益に関し、その功労が顕著な者に対して市民とともに表彰することで、目標や励みとなるほか、市政への理解を深めてもらいたい市民の意識高揚を図ることを目的とする。			指標	総計の現状値	R6実績値	48人の賛同者が出席のもと、表彰式典及び祝賀会を開催し、自治関係功労者1名に対し、表彰状、有功章及び記念品を贈呈した。
総合計画の位置づけ			市政に市民の意見を取り入れる機会が増えたと思う市民の割合	44.8%	42.3%			
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						永年にわたり、本市の発展、進展に寄与された方の功績を称える表彰式典であり、今後も継続して行うが、賛同者の参加申込方法や会場設営・運営方法などについて、より良い式典が開催できるよう検討が必要である。
個別目標	繋がりあい支えあい新たな刺激が生まれることでみんなが主体的に地域課題を解決できるまち	R5決算額	799	726				
個別目標の方向性	誰もが市民参画できるように機会の充実を進めます	R6決算見込額	510	462				
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			事業の課題/今後の取組み
広報活動事業		すべての市民に情報が届けられるまちをめざし、ホームページやSNSを活用し、行政情報や本市の魅力などをより多く提供することで市民の利便性向上を図る。また、さまざまな情報を随時、公開・公表することで行政の透明化を図ることを目的とする。			指標	総計の現状値	R6実績値	市の認知度向上及び魅力発信による市のファンの獲得は、習慣的に接点を作り続けることが重要であるため、継続してプロモーション活動を行う必要がある。時代に合わせた情報発信媒体による情報発信を行い、より多くの人に情報を届けるとともに、市だけではなく、市民と一緒にになってプロモーションを実施する仕組みをいかしながら、市民目線の情報発信の強化を図る。
総合計画の位置づけ			SNSのフォロワー数（累計）	77,235人	81,405人			
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち	魅力発信に関わる特設サイトの閲覧数			5,500件	49,930件		動画ニュース「IZUMIOTSU NEWS」の配信開始と、市民参加型の「IZUMIOTSUインフルエンサー」制度の創設に加え、民間事業者を活用したプレスリリースの強化により、泉大津市の施策への理解促進と市の認知度向上を図った結果、より多角的な視点からの魅力発信を実現し、市の認知度向上及びイメージアップに寄与した。
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち							
個別目標の方向性	市の魅力を強力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R5決算額	31,878	31,652				
		R6決算見込額	11,000	5,771				
		R7予算額	12,986	4,799				

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
広報紙発行事業		市の重要施策や行政情報などを広く市民に伝え、市政への理解促進や生活関連情報、イベントなどの情報を市民に提供することを目的とし、自治会での配布、個人からの申し出による			指標	総計の現状値	R6実績値	広報紙の配布実数は、大きく増減するこどなく推移しているが、内訳としてポスティングが、わずかだが増加傾向にある。公共施設、市内にある公共交通機関の駅、スーパーマーケットにも配架し、多くの市民に広報紙を手に取ってもらえるようにしている。また、ホームページへの掲載、毎月1日にはLINE登録者に広報紙発行のお知らせも行い、いつでも、どこでも、手軽に見てもらえるようにしている。	
総合計画の位置づけ		泉大津市に住み続けたいと思う市民の割合			86.2%	86.5%			
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち	多くの人に配布する。						市が届けたい情報を、より多くの人に興味を持ってもらい、より深く理解してもらえるよう、LINEアンケートでいただくご意見や要望を参考に、よりわかりやすく情報が伝わる紙面づくりを行っていく。また、広報紙の配布方法について、全世帯に情報を届けるために最適な方法を検討する必要がある。	
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】		R5決算額 R6決算見込額 R7予算額	32,348	32,194			
個別目標の方向性	市政の情報や魅力を市民の関心を引くよう工夫を凝らして届けることでシビックプライドを醸成します	R5決算見込額	34,947		33,955				
		R7予算額	34,756		31,510				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
マスコットキャラクター運営事業		マスコットキャラクター「おづみん」を活用し、毛布とニットのまち泉大津を市内外にPRするとともに、各種イベントへの参加やイラストを活用いただきことで、市民の郷土愛の醸成や市内外へのシティプロモーション（地域のPR）を行う			指標	総計の現状値	R6実績値	市のマスコットキャラクターとして、地域のイベントや市外のイベントへの参加や、xアカウント「おづみん@泉大津市【公式】」やInstagramアカウント「魅力発信泉大津」で情報発信を行うことで、新たに合計1300人以上のフォロワーを獲得し、市の認知度向上に寄与することができた。	
総合計画の位置づけ		SNSのフォロワー数（累計）			77,235人	81,405人			
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち	事業費（うち市負担額）【千円】		R5決算額 R6決算見込額 R7予算額	917	0		本市に興味・関心を持ってもらうため、おづみん（マスコットキャラクター）を活用した市のPRを実施し、情報の拡散力を高める必要がある。シティプロモーションのメインターゲットである子育て世代が多く来場すると見込まれるイベントへの参加や、X（旧Twitter）やInstagramなどの接点の増加など、状況や場面、媒体の特徴を踏まえたアプローチ方法をさらに工夫し活動を展開することで、より効果的に市の認知度とおづみんの認知度向上を図る。	
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	R5決算額	2,057		330				
個別目標の方向性	市の魅力を強力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R6決算見込額	1,649		614				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
泉大津市ふるさと応援寄附事業		柔軟で健全な行財政運営をめざし、ふるさと納税による寄附促進と地元特産品等のPR促進及び販売促進との相乗効果を図る。泉大津市を応援し、ふるさと応援寄附を行っていただいた方に謝礼としてふるさと商品を進呈する。			指標	総計の現状値	R6実績値	返礼品充実のため、職員による事業者訪問、補助金制度の改良を行うとともに、中間委託事業者の知見を活かし、返礼品画像の改良や広告、12月の增量キャンペーンやレビュー投稿への粗品贈呈、メールマガジン配信、ふるさと納税専用Instagramでの投稿、返礼品同梱の小冊子配布など、多様な施策によりリピーター獲得にも注力した結果、寄附金額・寄附件数ともに昨年度を上回る結果となり、市のファンの獲得につながった。	
総合計画の位置づけ		SNSのフォロワー数（累計）			77,235人	81,405人			
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち	ふるさと納税制度への参加促進及び新たな返礼品の創出や改良を行うことで、安定的な寄附金の獲得に努める。		R5決算額 R6決算見込額 R7予算額	317,064	0		寄附金額の増加に向けて、補助金制度を活用しながら魅力的な返礼品の開発を引き続き促進するとともに、キャンペーンや広告などを効果的に活用し、既存返礼品を含めた情報発信を強化する必要がある。また、新たな返礼品として地元グルメなどの体験型ふるさと納税の開発にも取り組むことで、さらなる自主財源の確保及び市のファンの獲得につなげていく。	
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】			340,611	0			
個別目標の方向性	市の魅力を強力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R7予算額	498,367		0				